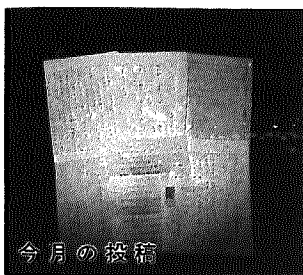


街かど

- 募集しています
- 短歌
- 俳句
- 詩
- 随筆
- イラスト
- 写真
- まんが
- その他
- 町への意見や要望も受け付けます
- 文章は苦手という方は連絡を
- 取材に行きます
- 匿名もよいです
- 投稿・連絡先は 黒崎町大野2-1 広報「街かど」係 377-3101



短歌

黒崎短歌会

わが縫いし襦袢の小袖ひらひらと踊りに競う友のなつかし
柴垣 きみ

病室のこの静けさに胸さわぐ
病む女細くみなや八十路越ゆ
上山 恵子

青空に真白き航雲あざやかに
いすこに行くらむ空わたる人
笠原 セツ

今にして亡父ののこせし歌謡
みてありし日忍び悔の多かり
大谷 モト

にこやかに大きく飾れる亡母の
遺影三十三回忌ひたになつかし
泉井 ヨ子

遠き日は稲架木に大根干せし
田面今高々と新幹線走る
小出美喜子

天然の山を活かせる庭園作り
明治の粹にロマン残せり
永田キヨイ

秋茄子は煮物に限るといふ嫁
の好物つくりて夕餉待ちいる
長谷川トトリ

登校に一般に走る児の後を銀杏の落葉舞いて追いつく
阿部 淨子

鳴き渡る群鳥の影消え去りて
ゆく秋の空木枯さむし
山田 卯八

亡夫が植えし紅葉嵐に散り果
ててひとりし踏めばゆく秋の音
大矢 キイ

枯れはてて木の葉一ひらゆく
秋の庭吹く風に軽びて遊ぶ
宮田 みい

俳句

黒崎俳句会

霰月や白猫よぎる無人駅
トシ子

冬の日の色あるものにやさしかり
富代

手馴れたる仕草で老の頬がふり
古寺の如何にも古き冬構へ
俊郎

鱈焼きし句の満てる膳に座す
とし松

野菜の紅き実残り雪催ひ
秀子

木枯や昼を灯して町工場
文男

千大根杭も入れ本漬に
翠

飛びおりて風によろけし寒雀
美芳

槽様の妻とはなれず年暮れる
モト

こやみなく灯影を濡らす冬の雨
義男

小春日や今日より姉となりし孫
代香

裏口の下駄をとりこむ時雨
憲治

陽を受けても甘そうな吊し柿
多住

裸木に風格ありし大櫛
ちえ子

降りさうな空を支えて枯ボラ
耕畝

朱の膳に手料理並ぶ大晦日
洋子

歌留多とる少女の指の白さかな
敏郎

内陣の輪灯ほのと大晦日
史子

茹であげし緑したたる冬菜かな
智恵

はぐれたる夫も新巻提げてをり
律子

よそ行きに着替へて屠蘇の膳祝ふ
友住

伊夜日子の浄火とどろとどろ二日
かな
一女

父住まふ村に続きし患方道
舞子

びつたりと水面動かぬ冬の川
綾

ぐるぐると巻き敷巻といふもの
飛浪

寒雀とは低き木に群るるもの
素明

張り終へし障子開ければ冬の月
きい

湯の客の先づ手をかざしたる
大田好真
素子

冬晴れに息を吹きかけ窓を拭く
玲子

掛け声も焚火を股に朝の市
弘子

賛美歌の静かに哀し聖夜かな
とし

びんと張る雪吊繩のきらき
悦子

初雪や木守りの柿の帯隠し
小林とし松

病みし夫一日おきに見舞いけり
小林 くに

一寸一服近頃気になる言葉

この矛はどんな楯でも突き通す。と言って大儲けした商人が居た。この楯は如何なる矛でも防がれる。と売り歩いた者もしこたま得をしたと言う。若しこの両者が闘つた

らどんな結果が出るのだろう。中国の諺は「矛盾」の語原をこの様に明快に説明している。

近頃日本語の乱れを指摘する声がぼつぼつ聞かれる様に

なつて来た。マスコミなどがスポーツやその他の分野での成功者を「一、人一倍努力したからだ」とか「負けず嫌いの性格」とか紹介している事が多い。理屈っぽいのかも

布川忠一

しれないが考えてみれば人一倍の努力とは普通一般と同じと言うことであり、言葉換えれば特別の努力はしていないと言う事である。人一倍とか人三倍と言ってくれば、うな

づけるがそれだと語呂が悪いからなのだろうか。また負け嫌いならわがるが負けずとずが付けば反対語となつて勝つことであり、従つて勝つ事の嫌いな性格ではよほどの好運に恵まれな限り大成はおぼつかなく、他をおしのけても自分を自立てたいとする傾向の強い当世社会の荒波は到底

乗り切れまいと思つるのは偏見だろうか。

子供の頃覚えた言葉に「強食弱肉」とか「権謀術策」とかと書く熟語があつたが、いまだきの紙面はいつのまにか「強肉弱食」「権謀術策」にすりかわつている。どちらが正しいかは別としてとにかくいぢり廻している様子がする

がどうだろう。

また昔よみと訓よみの混同も気にかかる。ソニン(粗品)と言わないでソシナが一般化しているし、交通用語の「路肩」もロカタとよんで平気でいるが吾々戦前派からすればむしろミチカタと発音して貰つたらより理解度も高くなると思ふのだが。

横文字や片仮名文字のやたら増えてついでに行けない昨今、としよりの時代後れと覚悟はしているがそのうちにまかりまちがつて、「御年始」をゴネハツメなどと読まない様にと念じ乍ら適当にヒネクレている昨今である。

皇居参観の記

今年も皇居参観が元旦のニュースとなる、二重橋前から遥拝したこと幾度が、心奥の願いを楠木氏の像に慰められしも幾度か、それが平成四年九月叶えられたのである。吾家の十大ニュースの①である。

整えるでしよう」「そうです、当然」と言うことに成つて、襟を正す。無用の要在り、安堵。

さて、鬼怒川から今市、宇都宮インター東北道を通つて三郷から首都高速に入る。交通渋滞は聞いて居たが、実に凄いい、これが、僅か十二、三kmを二時間も要するとは、代わりに都内車中見物も出来たことだし、我慢々々。

正午過ぎ皇居前の広場着、二重橋前を大きく迂回して桔梗門へ門前衛視から人員数と団体名の確認を受け衛視の先導を得て桔梗門鉄扉が開かれて入門、すぐに休憩棟が在つて少休止、その間に皇居内の案内説明と室内庁御用達の記念品調達、小用を足す時間四十分。いよいよ参観行、先導と後続衛視二名付。ゆるい起

伏の道を行く、角櫓の白壁に魅られ、手入れの行き届いた青松の趣むき、大手門を左に見て宮内庁舎を右に見て道を上ると視界が抜けて来る。若松の塔が迎えてくれる。燦し緑青色が映える。衛視の説明は一段と声に艶が増す、東宮殿正面お野立ちの間が拝される、参賀の折の歓声が偲する幻覚、宮殿の左端に寄つて建物植栽の説明が有つて来た道を元へ移動する。鳥合の衆がそろそろと。

東宮殿正面玄関の棧入り硝子扉に、吾等参観者の列が反射する、宮殿内へ参内して行くやうな錯覚をおぼえ、吾に還る。

東宮殿車寄せ前で、歴代典礼参加者、内閣認定の記念撮影が行なわれるのだと説明、ゆつくりと道を戻り下つて、

宮内庁舎から左に移り紅義山を抜けて内堀の道を進む、水草の覆い繁り、石垣に点綴する白い石塊は築城以来の面影を留めると言う。道灌堀もその対極に面波を留めて静まる。古代武蔵野の遺された原風景が。陛下散策の疎林の道も見えた。

堀端桜樹の下を歩む、撮影構図を求めて遅れ勝ちになる、時折、衛視に列の乱れを注意され小走りで追う。内堀が壘にせき止められ細い道が在る、人が通れる少々な御門を抜けると本丸跡に出る、太田道灌建立の本丸城址もその儘に、この城址敷地で昭和天皇の葬典が行われたのだと言う。尚、二重橋を皇居内から望み出来たことは印象深い、橋燈を列らね見る構図の面白さ、等々。僅かな時間で皇居

内の未知との出会いも、桜田門が見えて来る、附属する番屋、武装衛士の屯した百人番屋と遺構が見えて来ると、衛視の説明する声を邪魔するやうに外界の騒音が混り込んで来る。前に見える門を出ると、皇居内の公園として開放された遊歩道になる。外人さんの姿、親子、家族連れの道行が目に入るようになる。

ぐるっと皇居内を一巡し、角櫓の白壁、青松、延々に自然林を残して静寂を保つ、皇居。衛視の説明は終わった。思い出を残して去る。

「ゴイー」桔梗門の鉄扉は閉ざされた。

鳥原大明 青木一男

環日本海交流圏国際フォーラム'93イン新潟

平成5年2月18日(休)、19日(金) ホテル新潟
基調講演「環日本海諸国発展の展望、現状とその予測」
講師 ロバートB. パネロ氏(アメリカ)、パネルディスカッション「環日本海経済協力の可能性」など
1月25日(月)までに、往復はがきに住所、氏名、電話番号、職業など記入の上、新潟県企画調整部企画課シンクタンク設立準備室(☎285-5511)まで申込ください。



住宅金融公庫 住宅融資案内

▼受付 3月19日(金)まで
▼資格 ①自分で所有し住む

ための住宅資金を申し込まれる方 ②財形貯蓄を1年以上行い、その残高が50万以上の方 ③勤務先から5年以上住宅手当か利子補給可能な方 ④連帯保証人がいる方

▼融資額 財形貯蓄残高の10倍、最高4千万円まで
▼住宅金融公庫北関東支店 ☎0272-3216656

住宅金融公庫

「明るい家庭づくり」「家庭の日」に関する作文募集に、PTA及一般の部の応募が少なく困っています。2月20日まで締め切りを延長しますので奮ってご応募下さい。

▼募集内容 ①家庭の日のようす(みんなで協力して仕事をしたことなど) ②明るい家庭作りの工夫点や努力など

▼応募方法 400字詰め原稿用紙5枚以内とし、一行目に題名、二行目に自治会名・氏名・年齢・電話番号を記入。

▼問い合わせ・送付先 教育委員会内 青少年育成町民会議 作文募集係 電話377-3101まで。

